

令和2年度 中学校「学習指導・評価計画表」 教科【国語】・学年【3年】

関 国語への関心・意欲・態度
 話 話す・聞く能力
 書 書く能力
 読 読む能力
 言 言語についての知識・理解・技能

月	単元材	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
10	状況の中で	故郷	読	表現に着目し、人物の変容、社会の状況、主題を理解する。	表現に着目し、人物の変容、社会の状況、主題を理解し、自分の考えをまとめ、発表できる。	発言 観察 ノート ワークシート 定期テスト
		新聞の社説を比較して読もう	読	論説を読み比べる観点について理解する。	論説を読み比べる観点で比較して気づいたことをまとめる。	
		言葉2 慣用句・ことわざ・故事成漢字の造語力	言	慣用句・ことわざ・故事成語を理解し、語彙力を高める。 類義語・対義語・四字熟語について漢字や意味を理解する。	慣用句・ことわざ・故事成語を理解し、語彙力を高め、例文を考え発表する。 類義語・対義語・四字熟語について漢字や意味を理解し自分の表現に生かせる。	
11	いにしえの心と語らう	季節のしおり「秋」	言	短歌、俳句の情景を読み取り、味わう。	情景を味わい、季節感が伝わるように表現し、発表する。	発言 観察 ノート ワークシート 定期テスト
		古今和歌集仮名序	言	繰り返し音読し、昔の人々が和歌に込めた思いを読み取る。	繰り返し音読し、昔の人々が和歌に込めた思いを読み取り、感想を発表する。	
	いにしえの心と語らう	君待つと——万葉・古今・新古今和歌集	読	・一首ごとの知識の習得に偏らず、口語訳で大意を知り、和語で詠まれた和歌の響きやリズムを味わいながら正しく美しい日本語で音読する。 ・大意から心情や情景を想像し、鑑賞文を書き、作者の思いを感じ取る。	・一首ごとの知識の習得に偏らず、口語訳で大意を知り、和語で詠まれた和歌の響きやリズムを味わいながら正しく美しい日本語で朗読する。 ・大意から心情や情景を想像し、鑑賞文を書き、発表しあうを通して作者の思いを感じ取る。	
12	論旨を捉えて	夏草 ——「おくのほそ道」から	読	・旅や人生に対する作者の思いを表す語句・表現に注意して読み、歴史的背景をふまえて芭蕉の心情を理解し、ワークシートに書き。	・旅や人生に対する作者の思いを表す語句・表現に注意して読み、歴史的背景をふまえて芭蕉の心情を理解することができ、ワークシートにわかりやすく伝わるよう書くことができる。 ・自分の考えをグループで積極的に意見交流できる。	発言 ノート ワークシート 定期テスト
		古典を心の中に	読	・古典作品を読むことで、時代背景や文章に込められた人々の思いを読み取ることができる。	・教科書で今までに学習した古典作品以外についても関心を持ち、積極的に読み、作品の素晴らしさに気づくことができる。	
		作られた「物語」を超えて	読	・筆者の主張を読み取り、自分の考えを短くまとめ、キヤッチコピーで表現する。	・筆者の主張を読み取り、自分の考えを短くまとめ、説得力のあるキヤッチコピーで表現することができる。	
		練習 話し合いを効果的に進めよう	話	・学校生活や地域、社会での出来事を元にテーマを選び、各自が提案を行い話し合う。	・学校生活や地域、社会での出来事を元に積極的にテーマを選び、各自が提案を行い、話し合いの目的を決めた上で、話し合いの流れをくみながら意欲的に話し合う。	
		説得力のある文章を書こう	書	・構成、表現、資料など説得力のある批評文を書く準備を行い、文章を完成させる。	・構成、表現、資料など説得力のある批評文を書く準備を行い、相手にわかりやすく伝わる文章を完成させる。	
1・2	読書に親しむ	初恋	読	・表現から読み取った作者の思いについて、感想を書き発表する。	・表現から読み取った作者の思いについて、自分の体験と関連づけて感想を書き、わかりやすく伝わる発表をする。	発言 定期テスト 観察 ノート
		文法への扉2 「ない」の違いがわからぬ? い?	言	・用言と付属語の間を含めて文を単語に正しく区切り、それぞれの品詞を見分けることができるよう、品詞の知識の総復習を行う。 ・例文の中での助詞、助動詞のはたらきを考える。	・用言と付属語の間を含めて文を単語に正しく区切り、それぞれの品詞を見分けることができるよう、品詞の知識の総復習を意欲的に行う。 ・例文の中での助詞、助動詞のはたらきを考え、的確に理解する。	
		エルサレバドルの少女へスース 季節のしおり 冬	読 言	・自分の読書体験をふり返り、普段自分が読まないジャンルの本を自分にとっての必要性や将来の可能性を考えながら、選ぶ。 ・紹介されている和歌と、俳句を味わいながら音読する。	・自分の今まで読んだ本のリストを分析し、自分にとっての必要性や将来の可能性を考えながら、これから読みたい本を選び、発表する。 ・紹介されている和歌と、俳句を味わいながら朗読する。	
3	未来に向かって	誰かの代わりに	読	・キーワードに注目し、その語句が本文でどのような意味で使われているかを読み取る。 ・筆者の主張をキーワードを使ってまとめる	・キーワードに注目し、その語句が本文でどのような意味で使われているかを読み取り、意見交流ができる。 ・筆者の主張をキーワードを使ってわかりやすくまとめる	ワークシート 発言 ノート 定期テスト
		わたしを束ねないで	書	・詩に使われた表現技法や語句から、作者の思いを読み取る。 ・作者の思いを踏まえて自分の未来や生き方を考え文章にまとめる。	・詩に使われた表現技法や語句から、作者の思いを読み取り、ノートにまとめることができる。 ・作者の思いを踏まえて自分の未来や生き方を考え、文章にまとめ発表できる。	
		漢字のまとめ	言	・常用漢字表、辞書、便覧などを参考にしながら、漢字の問題に取り組み、漢字への理解を深めている。	・常用漢字表、辞書、便覧などを参考にしながら、漢字の問題に取り組み、正確に漢字を理解し、漢字学習全般の総復習とする。	
	三年間の歩みを振り返ろう	書	・3年間国語科で学んだ内容をふり返り、身についた力や課題を書き添えて冊子を作成する。	・3年間国語科で学んだ内容をふり返り、身についた力や課題を書き添えて冊子を作成する。 ・自分の体験を交えながら考えをまとめることができる。	ワークシート 発言	

《書写》

10月～2月	漢字と仮名を調和させて 書こう	言	目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書く。	目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで 字形を整えて書く。	作品
	身の回りの文字を調べよう	言	身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に書く。	身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に美しく書く。	作品